

## 【第1回なかの保育園三者懇談会】

◆ 日 時 平成19年9月30日（日） 10時～

◆ 場 所 なかの保育園

◆ 出席者 なかの保育園保護者15名

◆ 内容等

市⇒ 市役所

な⇒ なかの保育園

保⇒ 保護者

台⇒ 台太郎保育園

市 前回、説明会の際に中村園長と村上保育士を紹介したが、今回初めて出席なさる方もいるので、自己紹介をお願いする。

台 おはようございます。自己紹介させていただきます。台太郎保育園園長の中村ミサと申します。どうぞよろしくお願ひいたします。台太郎保育園は産休明けから保育を行っておりますし、延長保育を8時まで行っています。

なかの保育園が移管されたときも乳児保育と2時間延長保育を考えております。

私たちは、皆様に喜んでいただけるような保育園にしたい。どうぞよろしくお願ひいたします。

台 台太郎保育園の村上奈穂子と申します。よろしくお願ひいたします。子供たちが一人ひとり生き生きと過ごせるように、なかの保育園の保育士とともに頑張っていきたいと思います。

市 これからこういう懇談会を1,2ヶ月に1回行いたいと考えている。テーマを絞って本日は移管計画案のうち引継保育までについて、説明させていただく。

\*\*\* 移管計画（案）第1期について説明を行う。 \*\*\*

今後については、第2期、第3期、第4期について説明を行いたいと思う。

市 早速懇談に入らせていただく。忌憚なく意見を伺いたい。津志田保育園でも懇談会をこのように行っているが、懇談会に出席した方には、一人一言くらい意見をお話していただくこととしている。どなたかいないか。それでは、保護者会会長からお願ひする。

保 おはようございます。保護者会の\*\*です。今日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。三者懇談会の1回目ということで説明をいただいたが、最初質問させていただく。

今、移管計画案の第1期ということで、11項目の説明をいただいたが、その内容は、なかの保育園と台太郎保育園の職員間で行うもの、市役所と保育園で行うもの、市役所と地域で行うもの、保護者と市役所や台太郎保育園で行うものに大きく分かれると思う

が、私たちが出席しているので、どこの部分で意見や要望を出せるのか具体的に教えていただければ、保護者の方がお話ししやすいのでは。

今、お話を伺った中で、（4）引継保育に係るスケジュールの話し合いというのは、ここは市から保護者に対して示していただきたい、保護者が確認するということが良いと思う。

（8）施設設計については、設計してから教えていただけるのか、私たちから要望を出した場合、要望を反映していただけるものなのか。保護者が要望を出して最大限取り入れていただけるのか伺いたい。

（10）引継保育の準備というところでは、四日市市の保育園のデイリーマニュアルが皆さんに回るが、デイリーマニュアルの作成についてどこが中心となって作成していくのか。

保護者から要望を出した場合、聞いていただけるのか、今後、三者懇談会を継続していくなかで、もう少し観点を絞った提案をしていただくと皆さんにお話しやすいようになる。

そのところを、よろしくお願ひする。

市 移管計画については、保護者の方と保育園を含めた市との関係や移管先法人の関係など様々な関係のものが書いてあるので、わかりづらいところがあるかと思う。

この移管計画は、今後保護者と移管先法人と市と三者で今後どういうように進めていくかをまとめて書いてある。三者懇談会の中で話し合っていくこととしている。決まっていることの報告だけでなく、皆さんからの要望や、皆さんの不安な点については、何度か伺って、Q&Aという形でお示ししているが、実際移管先法人が決まったところで、見えなかったところを明らかにしていきたいので、三者懇談会アンケートを取りながら進めたいと思う。スケジュールについては、お渡しした資料の5ページ以降に書いてある。

来年度、施設整備を行う関係上、概算の設計については、国に協議していくこととなる。それなので、皆様の要望が間に合わない可能性がある。

しかし、第7回・第8回の保護者説明会で保護者の方から病児保育について意見があったので、前回提出していただいたものから設計変更をして保育所型の病児保育のスペースを新たに設けることとした。

来年度の補助金の交付で、着工が順調に行けば6月頃となる予定で、非常にタイトな期間なので、全て保護者の要望を反映できるわけではない。

引継保育の準備についてどこが中心となっていくかということになるが、なかの保育園の職員が中心となって、これらをまとめて、引継保育の準備を行っていただく。デイリーマニュアルを作成して、来年の4月と10月から来る保育士が、これを基にしてなかの保育園の保育を実践していくことになる。

保 新しい園舎の設計に保護者の要望を入れていただけるのか。入れてもらえないよう

あれば、早い段階で設計が決まつたら報告いただきたいと思う。

できれば、今は駐車場から玄関まで遠いのと、園庭を突っ切ってという形なので違う形にしてほしい。

来年の4月から3人の保育士が来るということだが、定員が増えるのは、再来年からということだが、現在の定員での保育士は、何人必要で、再来年の定員の増になると何人の保育士が必要なのか。

異動が4月と10月にあるようなので、結構な人数の保育士が異動されるのか教えていただきたい。

市 設計については来年度の予算もあるので、設計図書と概算の設計金額を提出していたいている。例年だと10月頃、国に交付申請する関係で基本設計ができている。

設計図書については後日説明したいと思う。駐車場については、保護者の皆様に迷惑をかけている状態だが、新しい保育園になると保護者の送迎用の駐車場を用意している。最新の設計図書が手元に無いので、はつきりといえないが、確か8台から10台くらいの駐車スペースを確保している。その他職員用の駐車場がある。今、ご不便をかけているところについては改善する予定となっている。

自園型の病児保育のスペースもある。急な発熱等の場合、保護者の方にすぐに迎えに来ていただくということになっている。平成21年4月からは乳児保育を行う予定としており、看護師を配置する予定としている。保護者の方が迎えにくるまでの時間、安静室でお預かりすることとなる。

定員の話だが、引継保育期間中はこの保育園で保育を行うので、来年は定員90名で変わらない。

こちらで引継保育を行っているのと平行で、東安庭の土地に新園舎の建設を行う予定としている。

その際に定員を90名から120名とする。新たに乳児保育を行うこととなる。

定員に対する保育士の数だが、国で定めている保育士の配置基準がある。具体的には0歳児については児童3人につき保育士1人、1~2歳児については児童6人について保育士1人、3歳児については児童20人について保育士1人、4~5歳児については児童30人について保育士1人を配置することになっている。定員が大きくなっても、定員に合わせた形で保育士を配置することとなる。

その他当初3年間については、新しい保育園を運営するということで、基準よりも臨時保育士2名を多くつけることとしている。

保育士の異動についてだが、4月については、3人来ることとなっており、新たに台太郎保育園から村上保育士が主任保育士としてきて、主任保育士が2名となる。残りの2人は、なかの保育園の担任保育士を行っていただくこととなっている。

なかの保育園の保育士が1名欠員となっているので、1名程度の異動がある。10月からは、なかの保育園の臨時保育士の期限を9月までとすることによって、代わりに台太

郎保育園の保育士さんが来ていただくこととなる。人の異動は最小限になると思う。

保 病児保育をしていただくのはありがたいが、その時にはぜひ、休みが取れるように企業側に対しても働きかけていただきたい。できれば子どものために帰ってあげたいが、人手が足りなくて、他の人に迷惑をかけられないというような環境だと子どもがかわいそうなので、そういう部分も対応してほしい。

市 仕事と子育ての両立を行うために皆さん保育園に預けている。児童福祉課では子育てに力を入れている。一方では、雇用労政課がそういった仕事の方を行っている。保護者の方からそういった要望があるので、そういうことについて市の中で横断的に話し合っていかなければならない。雇用については、法律で決まっている部分や国の施策の動向もあり、市としても国にお願いしていかなければならないところがある。

大きい職場では、次世代育成対策行動計画があり、子育て中の休暇などについても目標を持って行っているが、残念ながら確か雇用者が300人以上の企業に限られている。そういうところを雇用者数が少なくとも次世代の子育てのために職場環境をどうして行くかについて国にはお願いしていく。

保 移管後も1年間保育をお願いすることになる。これからもう一人お願いすることになることかと思う。今いる先生方と子供たちが良い関係でいる。新しくなると保育士も替わり、保育相談員の方を含めて、引継ぎが円滑にできるようにしていただくのだろうが、新しい台太郎保育園の保育士とうまくやっていけるのか心配なところもある。実際やってみないとわからないかもしれないが、市ではどのように考えているのか。

市 盛岡市が民営化を進めるにあたって、一番考慮したのは、民営化によるお子さんへの影響だ。

盛岡市で民営化を発表する前に、全国の多くの市町村で保育所の民営化を進めていたが、調査したところ、引継保育を3ヶ月のところがほとんどだった。具体的には1月から3月まで移管先法人から保育士が来て、引継保育を行っていたところが多かった。

盛岡市としては民営化を進めるにあたって、お子さんに影響が出るようでは、計画としてまずいということで、引継保育の期間を1年間とした。引継保育の4月に3人の保育士、10月に3人の保育士に来ていただくこととしている。

保育所の民営化の計画を発表している全国の自治体の中で、引継期間は最長のクラスになると思われる。

1年間かけてお子さんの状況の把握に努めていくことによって、お子さんも新しい保育士に慣れていただいけるということで、引継保育期間を決めたものだ。

人数も6人としており、主任保育士は、保育所全体のところを見ていただく、残りの5人は、翌年の移管後も各クラスの担任保育士となるように考えている。このように市としても引継保育の期間や人数に配慮している。

市 補足する。村上さんは、現在の保育士の体制より1名多く配置となる。全体では1名多い保育士の数で、1年間余裕を持って引継保育を行うこととしている。

市 もう一つ補足だが、市では、移管にあたって、現在働いている臨時保育士が引き続き移管先法人で雇用していただけるよう斡旋を考えている。津志田保育園においても、現在働いている2名の臨時保育士を移管先法人で雇用していただき、10月から引継保育士として働いている。今現在働いている保育士がそのまま残ることとなるので、お子さんにとっては、変わらない状況にしている。

臨時保育士の資質や法人の考え方にもよるが、市としてはできるだけ斡旋して、同じ方ができるだけ残って円滑な引継を行いたい。

保 会長と同じだが、保育士を1人増やしていただけると聞いたので、質問することがなくなったが、新園舎に対する要望がある。0歳児の子どもがいるが、0歳児の子どもの部屋を他の年齢から感染しないようなつくりにしてほしい。

台 台太郎保育園は、昭和50年に本宮ベビーホームで低年齢児専門の認可保育所として開所した。平成3年から台太郎保育園として就学前までの保育を行うようになった。

理事長が病院の先生なので、心配のないように十分研究して保育を行っていくつもりなので安心してください。

保 先ほどの話で乳児保育をするために看護師を配置していただけるということだが、月曜日から金曜日までずっといるのか。

台 常勤の正規職員なので、ずっといる。

保 質問はない。今の3歳児が年長になった時に新しい園舎になるが、今より大きく立派な施設になるなら良い。園の方針はわからないが、子どもがとてもびのびと過ごしているのがわかる。新しく来る保育士が一生懸命子供たちを見ていただけるなら、それで良い。

保 お話を聞いていると、精神面で子供たちのフォローをしていただけそうな話が何点か聞こえているので安心している。漠然としているので、何を質問していいかわからない。具体的に絞っていただけるとありがたい。

具体的に園庭に遊具をどのようなものが設置していただけるのか教えていただきたい。

市 具体的なイメージがなかなかわからないかも知れないので、設計の図面等を後でお配りしたい。遊具はまだ決まっていない。その点は保護者の要望が反映できるかもしれない。もう少し絞ってということなので、移管後の保育園の姿を具体的にお示しする。定員や図面、何歳児クラスが何人なのかということをNEWS等でお知らせしながら、いろいろお聞きしたい。アンケートなどをとってそれに答えていきたい。

保 これからもう1人子どもを産んで、家庭の状況が変わらなければ、3人目の子どもをなかの保育園に預けたい。上の2人の子どもを小さいときから、預けたことが無いので、0歳児クラスの子どもがどのように過ごしているのかのイメージがわかない。子どもの保育をお願いすることになるかと思うが、0歳児がどのような保育を行っていくかがわかるとありがたいと思う。

市　図面のほか、今現在台太郎保育園が保育所を運営しているので、保護者の方にその保育園を見ていただくのも一つの方法だと思う。昭和 50 年から本宮ベビーホームを、ベビーホームとは言っても、認可保育所だが、開設し、低年齢児保育専門から行ってきたので、保護者の方が保育園を見学していただくと安心できる部分があると思う。

皆さんがちらほら行くと保育園でも困ると思うので、何人かまとまっていただけたらいいかと思う。

台　昭和 50 年から保育園を行ってきて、その当時は 20 人の小規模な保育所だった。施設は、それほど立派でないなかで、職員が工夫して保育を行ってきた。工夫すれば人間というのは、すばらしく良くなるということも体験した。平成 3 年に台太郎保育園を建設するときに、100%といつていいくらいに職員の意見を入れていただいた。子どもや職員の動線なども考えながら、設計に取り組んだ。楽しく良い保育を行うためには大人側が今になると満足はしているが、もっとこうすればよかったというのがあるので、今度の新しいなかの保育園の園舎に反映することができるのかなと考えている。

図面ができたら、なかの保育園の保護者に紹介したいと思う。

地域の方々も自由に保育園に来ていただけるよう、あるいは車椅子の方も保育園に来るかもしれない、車椅子用のトイレも考えている。

保　今の施設見学に関してだが、保護者の方にもぜひ台太郎保育園を見学していただけたらと思う。私は選定委員をさせていただいたので、見学させていただいた。保護者の方にご自分の目で確かめていただきたい。

もし個人的に対応していただけたら、保護者の方の都合の良い時間に行っていただいたらよいと思う。

保護者会として取りまとめて、この日とこの日というように見学をお願いすることは可能か。

台　保育園としては個人として来ていただいても、なんら問題ない。ただその前にお電話をいただければ対応できる。

保　事前連絡をすれば、見学させていただけるのか。

市役所のほうでバスとかを用意していただけるのであれば。

市　皆さんが車で行かれると駐車場の問題もあるので、日程とか人数とかがわかれれば、市でマイクロバスとかがあるのでそちらを用意して、保育園の施設を見学していただきたいと思う。

保　引継保育が始まっていないので、まだわからないので、今日のところは、質問はない。

保　移管先が決まるまでは、どうなるか心配だったが、移管先が決まってからは、何度か質問があってそれに対しての答えをみていると、心配ない、良い方向へ向かうのではないかという安心がある。市でも相談員として前にいた園長先生が来てくださって、すごく安心した。

先ほど、次期園長先生にとって 3 番目の保育園になるので、今までの経験を活かして

もっとさらによい施設をつくりたいといつていただいたので安心した。型にはまった形でなく、保護者の方の希望を入れて、できるだけ対応していただけるのではないか。

保護者と密に話に話して期待を持っている。今までもなかの保育園にお世話をになってよかったですと思うので、その良かったところを引き継いでさらに良くしていただけたら。

慣れし保育についてだが、古い園舎と新しい園舎と行き来するのか。

市 第2期の引継保育期間中になるが、資料では4ページの上の方の(10)だ。

なかの保育園の場合、平成21年4月に新しい園舎と保育士が変わるということで、4月に一気に変わるとお子さんへの負担が大きいだろう。今の予定だと、6月着工、12月あるいは1月には園舎の完成を見込んでいる。その際には、もちろんなかの保育園での保育を行いながら、徐々に古い園舎から新しい園舎に行っていただいて、新しい園舎になれていただく。そういう風にしながら、2ヶ月あるいは3ヶ月保育を行い、保育士が抜けるという形にするとお子さんの負担も少なくなるのではないかと考えている。

新しい園舎への慣れし保育を考えている。

保 新園舎が出来たときには、どんどん良い方向にいっていただければ。

設計というのは、いろいろ考えても不備が出るものなので、前の建物の反省を活かして、それを織り込みながら、よい建物を建ててほしい。

台太郎保育園の話を聞くとかなり経験もあるようなので安心している。

個人的な要望としては、雨の日の駐車場から玄関までの距離があり、布団なども毎週月曜日運ばなければならないので、駐車場から雨にぬれずに玄関まで来られるように屋根があればいい。

前の日が雨でも翌日運動会ができるグラウンドになるよう、水はけを良くしてほしい。今度の新しい園舎が立つ場所のそばに住んでいるが、結構交通量が多いし、普通乗用車だと車がすれ違うのがやっとという狭さなので2年後に保育園が出来上がったときに関係機関に働きかけて、標識等を設置したり、道路を拡幅するなど事故を防いでほしい。

土曜日保育を行う際に、前もっての届出が必要かと思われるが、土曜日の人員を把握しながら保育を行っていたのでぜひ行ってほしい。全国的にも行っているので広い視野でぜひ進めてほしい。

子どもの制服を同じものを着せるかどうか教えてほしい。

最後に市への要望だが、保育所が民営化になるのは時代の流れだと思うが、盛岡市単独で見ると、新聞などでは、市立病院が本当に活かされているのか。何十億円の赤字が出ているなど、市の財政を圧迫しているのは、そういうところだと思うので。民営化は民営化で進めていただいて、そういったところも進めてほしい。

台 正直なところ、皆さんの話を聞いて、私たちと同じところを心配していたのだなと感じた。雨が降ったときに布団がぬれないように屋根があったらとそういうことを考えて設計に入れている。なるべく早く完成したいが、5歳児に関しても新しい保育園舎に慣れていただけたら良いと思う。

制服のお話があつたけれど、特にそういうものはない。運動会のときに台太郎保育園では、園の備品として3歳以上児には運動着を来て運動会を行つてゐる。2日前に保護者に渡して、当日それを着て、終わつたら洗濯して返していただいてゐる。

5歳児になると影絵の芝居が見られるということで、その際に運動着を着用してゐる。

保護者の方には負担にならないよう台太郎保育園では行つてゐる。

市 皆さんに一言ずつお話いただいたが、ほかにないか。保護者の方から要望のあつた保育所の見学については、お知らせをいただいたら市でバス等を準備する。

次回からもこのような形でこのような時間で行いたいと思う。

これで第1回の三者懇談会を閉じさせていただきたいと思う。本日はありがとうございました。